



## 1学期たいへんお世話になりました

保護者の皆様のご協力により、本日、1学期を無事に終了することができました。夏休みは、7月21日（木）から8月24日（水）までの35日間です。「夏休みのくらし」、「夏休みプールなど予定表」、「学年通信」、「ほけんだより」等の学校からの配布物をご覧になり、規則正しい生活を心掛け、健康で充実した夏休みが送れますよう、ご協力をよろしくお願い致します。

### 【本日の終業式でのお話】

皆さんおはようございます。4月7日から始まった1学期が、今日で終わります。明日から、待ちに待った夏休みです。始業式と入学式に、校長先生は「笑顔あふれる学校にしよう」と皆さんにお話しました。この1学期を振り返って、どうでしたか。笑顔いっぱいの楽しい毎日を過ごせたでしょうか。校長先生は、皆さん全員のお陰で、笑顔の花がたくさん咲く、すてきな西小学校になってきたと思っています。1学期最後の日に、まず、このことについて皆さんにお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

さて、今日は校長先生から、詩をひとつ紹介します。サトウハチローさんの「美しく自分を染め上げて下さい」という詩です。皆さんは何色が好きですか。今の自分を色にたとえると何色だと思いますか。または、将来何色になりたいと思いますか。それはなぜですか。そんなことを考えながら聞いてください。

### ～『美しく自分を染め上げて下さい』～

赤ちゃんのときは白 誰でも白 どんな人でも白 からだや心が  
 そだっていくのといっしょに その白を 美しく染めていく 染めあげていく

(中略)

ひとにはやさしく 自分にはきびしく これをつづけていると 白はすばらしい色になる  
 ひとをいたわり 自分をきたえる これが重なると 輝きのある色になる

(中略)

生まれてきたからには よき方向へすすめ からだや心を大きくするには  
 よき道をえらべ 横道はごめんだ おことわりだ いそがずに ちゃくちゃくと

自分で自分を 美しく より美しく 染め上げて下さい

はじめにも考えてくださいと言いましたが、自分は今、何色に染まっていますか？ひとりひとりの好みや考え方が違うように、みんなばらばらだと思えますが、その色は輝いているでしょうか。「ひとにはやさしく」。友達や家族にやさしいことばをかけ、素直な気持ちで接する。「自分にはきびしく」。勉強や運動で「きついなあ」と思ったとき、弱い自分に負けずに頑張る。そうすると、「白はすばらしい色になる」。さらに、困っている人やつらい思いをしている人を助け、やさしく接する。強くたくましい自分になれるよう、毎日努力を続ける。そうすると、「輝きのある色になる」と、サトウさんは言っています。

明日から35日間の夏休みがスタートします。この長い長い時間を使って、みなさんには、是非、自分の色が、今、何色なのか、どれくらい輝いているのかを、もう一度確かめて欲しいと思います。夏休みの宿題をしっかりと終わらせることもとても大切ですが、今までの自分を振り返り、これからの自分を考えることも同じくらい大切だと思います。

今の自分の色を確かめるヒントは、この後、担任の先生から手渡される通知表の中にもあります。何回も何回もよく読み直して、自分の色と輝きを確かめてみてください。

そして、自分が思い描く自分色に染まれるように、良き方向に進むための良き道を見つけられるように、そして、自分の色がキラキラと輝けるように、2学期からまた頑張りましょう。8月25日の2学期のはじめの日に、元気に会いましょう。校長先生の話の終わりにします。

# 認知症サポート講習会を実施しました ～4年生～

7月12日（火）5校時に「桐生市キャラン・メイト連絡会」から講師の先生をお招きし、4年生が認知症サポート講習会を行いました。認知症になるメカニズムや症状、具体的な事例などを紙芝居も交えながら詳しく説明してくださいました。

紙芝居の途中では、迷子になって困っているお年寄りに、どのように声をかければよいかをグループで相談し、実際の対応について



も考えた。授業の終わりに、認知症サポーターとしてみなさんで助け合える安心なまちづくりを約束することができました。



## 夏休みにぜひチャレンジを！

明日から始まる長い夏休みは、普段なかなか時間がなくてできないことにチャレンジするとても良い機会です。課題や様々なコンクールへの募集などが紹介されているかと思いますが、それ以外にも興味のあることに思いきって取り組んでみると、今まで気づかなかった新しい自分に出会えるかもしれません。そんな「自分探し」の後押しを保護者の皆様にも是非宜しくお願い致します。

5年生は、一学期の図工単元「糸のこすいすい」で思い思いの作品づくりにチャレンジしました。一見危なそうに見える「電動糸のこ」を器用に操り、それぞれがアイデアを存分に生かした素晴らしい作品を仕上げました。

